

東部療育通信-2024年6月号-

入所と地域の障害児(者)の生活を支援するメールマガジン

発行東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

日頃より東部療育センターのメールマガジンをお読みいただき、誠にありがとうございます。
ます。

今回は、重症児者の「見ること」「聴くこと」の支援について当センターの取り組みを
交えてご紹介したいと思います。

「重症児者の「見ること」「聴くこと」の支援」について

皆様は重症児者と時間を共にしている際に「どれくらい見えているのだろうか?」「どれ
くらい聴こえているのだろうか?」と気になったことはありませんか?「キラキラ光るもの
はよく見る気がする」「太鼓の音は好きな気がする」など感じたことはありませんか?

重症児者は障害の多様性とその重症度から反応が一定ではなく、どのように「見えてい
るか」「聴こえているか」を把握することが難しい場合があります。五感と呼ばれる 5 つ
の感覚(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)の中でも、様々な情報の 9 割以上は視覚と聴覚
から得ているといわれています。

当センターではリハビリテーション科の作業療法士、言語聴覚士が利用者様の視覚・聴
覚機能を把握するために以下のような評価を行っています。

■視覚機能評価

対光反射/光覚反応/反射性瞬目/回避反応/OKN(視運動性眼振)

注視/瞥見視野検査(周辺視)/追視検査(中心視)/縞視力測定

これらの検査により、光や影に対する応答性や、人や物の動きを見る力、見える範囲を
確認します。

■聴覚機能評価

聴性行動反応聴力検査(BOA)/条件詮索反応聴力検査(COR)/音場聴力検査

鈍音聴力検査/耳音響放射検査(OAE)/聴性脳幹反応聴力検査(ABR)

※OAE と ABR は機械を用いて測定する検査です。ABR は医師や臨床検査技師によって実施
されています。

これらの検査は主に、どの程度の小さな音まで聞こえているかということ測定します。また検査を通じて、反応がよい音の種類や気づきやすい音の出し方等、ご本人の聴こえの能力を最大限に生かせる関わりを探していきます。

以上の評価を基に、その方その方に応じた支援を行っています。その一部をご紹介します。

■「見ること（視覚）」の支援

- ・ 見ることが苦手な方に対しては、コントラストがはっきりした物や電飾など光るものを利用すると見やすくなります。年齢の高い方の中には明るすぎるとまぶしく感じる方もいらっしゃいます。
- ・ 静止している物に注目しづらい方でも、提示するものを振ったり動かしたりすると視線を誘導しやすくなります。
- ・ 眼位ずれ（斜視）がある方は、目を片側ずつ観察してみると利き目や注目している目がわかり、視線を捉えやすくなることがあります。
- ・ 目と対象の距離をゆっくりと近づけたり遠くしたりしてみると見やすい距離を確認することができます。また、左右上下に動かしながら見やすい場所を見つけることもできます。

■「聴くこと（聴覚）」の支援

- ・ 聴くことが苦手な方に対しては、音と同時に光刺激や振動刺激など、多角的な刺激を提示すると、音が鳴ったことに気づきやすくなります。
- ・ 呼吸器や吸引機などの医療機器の音が大きい方は、スピーカーを使用するなどして音源を近づけると聞こえやすくなります。
- ・ 音への過敏がある方には、音を出す前に優しく声かけをする、声かけをする前に目の前に立つ、ボディタッチをするなどして存在を知らせると驚かせずにすみます。
- ・ 聞こえに左右差がある方は、聴力のよい方向から声かけする、スピーカーを置くなどすると聞こえやすくなります。

今後も日常の関わりの中で得られる様々な情報と、専門的な評価を基に、より質の高い支援や療育を提供できればと思います。

ご不明な点がございましたら、作業療法士、言語聴覚士へお声掛けください。利用者様の生活を支え、豊かにするお手伝いができれば幸いです。

今回のメールマガジンはいかがでしたでしょうか？

ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくお寄せください。

| I | N | D | E | X |

1：施設概要のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

2：ご利用案内のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/>

3：施設開放サービス

→http://www.tobu-ryoiku.jp/service/opening_service.html

4：リハビリテーション科

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/department/rehabili.php>

| 施設概要

●東京都立東部療育センターは、重症心身障害児(者)の医療と療育を総合的に行う施設です。

●少子化が進行する中であっても、心身障害児(者)は減少しておらず、また、障害の程度は重度・重症化しています。更には、家族が高齢となったため家族介護が困難で施設入所を希望している方も増えています。

●一方で、できる限り住みなれた地域で在宅の療育を望んでいる障害者や家族の方達は多く、その支援の充実を図ることが一層必要となっています。このような状況に対応するため、重症心身障害児(者)施設が整備されていなかった区東部地区に設置することにしました。

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

◆このメールはmsw_trc@mtrc.jp のアドレスより配信しております。

◆送信アドレスは配信専用です。お問合せやお手続きは下記よりお願いします。

東部療育通信

発行：東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

個人情報保護方針：<http://www.tobu-ryoiku.jp/privacypolicy.html>

問合せ先 : <https://www.tobu-ryoiku.jp/inquiry.html>

〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-25

TEL 03-5632-8070 / FAX 03-5632-8071

E-mail msw_trc@mtrc.jp

●配信がご不要の方は、下記URL にアクセスして下さい

https://www17.webcas.net/db/pub/toburyoiku/mailmagazine_delete/create/input

Copyright (C) TOBU RYOIKU CENTER. All Rights Reserved.